

令和4年度シラバス(現代の国語)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	2単位	学年	1学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材] 第一学習社「高等学校 標準現代の国語」 [副教材] 第一学習社「学習課題集標準現代の国語」, 第一学習社「新装六訂カラー版新国語便覧」, 尚文出版「新常用漢字必携パーフェクトクリア」, 尚文出版「基本の現代文1(大学入学共通テスト対策新装版)」						

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習内容

・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
 ・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
 ・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ。

3 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	配当時間	指導上の留意点	評価の観点	評価方法		
4	世界を広げる	5 C「読むこと」	なぜ本を読むのか 世界は謎に満ちている	9	・国語の特質に対して理解と関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育てる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨をまとめたり、自分の考えを深めたりできるようにする。 ・文章に含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈し、根拠の示し方や説明のしかたを工夫して、自分の考えや事柄が的確に伝えられるようにする。	a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)		
5	話して伝える	2 A「話すこと・聞くこと」	話し方の工夫					a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
	書いて伝える	2 B「書くこと」	書き方の基礎レッスン					a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
	定期テスト				・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係について理解を深め、身に付けさせる。	a、b			
6	言葉が開く世界	13 B「書くこと」	言葉遣いとアイデンティティ 言語としてのピクトグラム	13	・実社会で理解したり表現したりするために必要な語句・語彙・漢字・表記・修辞等の知識や技術を理解し、身に付けさせる。	a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)		
7	定期テスト					a、b			
9	人間と文化	6 C「読むこと」	水の東西 ステレオタイプの落とし穴	14	・相手・目的・場面に応じた言葉遣い、表現について理解を深め、使えるようにする。	a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)		
10	話して伝える	8 A「話すこと・聞くこと」	待遇表現 論理的な表現					a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
	定期テスト					a、b			
11	社会と人間	6 B「書くこと」	「弱いロボット」の誕生 人はなぜ仕事をするのか	10		a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)		
12	話して伝える	4 A「話すこと・聞くこと」	スピーチで自分を伝える					a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
	定期テスト					a、b			
1	現代と社会	6 B「書くこと」	イースター島になぜ森がないのか 黄色い花束	18		a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)		
2	話して伝える	6 A「話すこと・聞くこと」	情報の探究と選択 情報源の明示					a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
3	書いて伝える	6 B「書くこと」	地域の魅力を紹介する 社会に対する意見文を書く					a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
	定期テスト					a、b			
合 計				64					

(55分授業)

領域ごとの授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」 20 時間(55分授業)	B「書くこと」 33 時間(55分授業)	C「読むこと」 11 時間(55分授業)
-------------	------------------------------	-------------------------	-------------------------

4 評価規準と評価方法

評価の観点・規準	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもっている。
評価方法	・ワークシート(記述の確認) ・学習活動への参加状況 ・質問に対する発言内容 ・小テストの取り組み状況 ・定期考査	・ワークシート(記述の点検) ・ノート(記述の点検) ・学習活動への参加状況 ・質問に対する発言内容 ・提出プリントの内容 ・定期考査	・ワークシート(記述の分析) ・発表の様子(行動の確認) ・学習活動への参加状況 ・質問に対する発言内容 ・提出プリントの内容 ・課題の提出、取り組み状況

令和4年度シラバス(言語文化)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	国語(言語文化)	単位数	3単位	学年	1学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材] 第一学習社「高等学校 標準言語文化」 [副教材] 第一学習社「学習課題集標準言語文化」, 第一学習社「新装六訂カラー版新国語便覧」, 尚文出版「記入して覚える古典文法クリアノート」, 尚文出版「精選漢文基本練習ノート」, 桐原書店「基礎から学ぶ解析古典文法三訂版」, 尚文出版「精選漢文」, 尚文出版「新常用漢字必携パーフェクトクリア」, 尚文出版「基本の現代文1(大学入学共通テスト対策新装版)」						

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習内容

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。
 ・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
 ・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ。

3 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	配当時間	指導上の留意点	評価の観点	評価方法
4	古文入門	5 B「読むこと(古典)」	古文の学習 児のそら寝	15	・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を的確に捉え、内容を解釈できるようにする。 ・詩のリズムや表記の特徴、鑑賞のしかたを理解し、作品に込められた作者の思いを読み取らせる。 ・短歌、俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人、俳人の作品を味わわせるとともに、特徴的な短歌、俳句の表現の技法とその効果について理解させる。	a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
5	小説を読む	5 B「読むこと(近代以降)」	とんかつ			a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
	古文に親しむ	5 B「読むこと(古典)」	なよ竹のかぐや姫			a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
	定期テスト					a, b	
6	漢文入門	14 B「読むこと(古典)」	漢文の学習 訓読に親しむ	20	・言語文化の特質について関心を持ち、古典作品に親しむための歴史的・文化的背景、文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めさせる。 ・古典の文章に慣れるとともに、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈できるようにする。	a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
	短歌と俳句	6 A「書くこと」	折句を用いて短歌を作る			a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
7	定期テスト					a, b	
9	小説を読む	10 B「読むこと(近代以降)」	羅生門	20	・古文の世界のおもしろさを読み取り、古文の世界への親しみを深めさせる。 ・漢文を訓読するための基礎知識を習得し、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈できるようにする。	a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
10	随筆を読む	10 B「読むこと(古典)」	枕草子 うつくしきもの			a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
	定期テスト					a, b	
11	中国の思想	12 「読むこと(古典)」	論語	20	・さまざまな種類の作品にふれさせ、読書の意義と効用を理解させる。	a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
12	小説を読む	8 B「読むこと(近代以降)」	夢十夜			a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
	定期テスト					a, b	
1	随筆を読む	5 B「読むこと(古典)」	徒然草	21		a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
2	小説を読む	8 B「読むこと(近代以降)」	鏡			a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
3	漢詩の鑑賞	8 A「書くこと」	唐詩の世界			a b c	ワークシート(記述の確認) ワークシート(記述の点検) 発表の様子(行動の確認)
	定期テスト					a, b	
合 計				96			

(55分授業)

領域ごとの 授業時数合計	A「書くこと」 14 時間(55分授業)	B「読むこと(古典)」 51 時間(55分授業)	B「読むこと(近代以降)」 31 時間(55分授業)
-----------------	-------------------------	-----------------------------	-------------------------------

4 評価規準と評価方法

評価の観点・規準	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	・ワークシート(記述の確認) ・学習活動への参加状況 ・質問に対する発言内容 ・小テストの取り組み状況 ・定期考査	・ワークシート(記述の点検) ・ノート(記述の点検) ・学習活動への参加状況 ・質問に対する発言内容 ・提出プリントの内容	・ワークシート(記述の分析) ・発表の様子(行動の確認) ・学習活動への参加状況 ・質問に対する発言内容 ・提出プリントの内容

令和4年度シラバス(地理総合)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	地理歴史(地理総合)	単位数	2単位	学年	1学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材] 帝国書院「高等学校 新地理総合」 帝国書院「新詳高等地図」 [副教材] 帝国書院「高等学校 新地理総合ノート」 第一学習社「コネクト地理総合」						

1 学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関係を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

2 学習内容

A 地図や地理情報システムで捉える現代世界 (1) 地図や地理情報システムと現代世界
B 国際理解と国際協力 (1) 生活文化の多様性と国際理解 (2) 地球的課題と国際協力
C 持続可能な地域づくりと私たち (1) 自然環境と防災 (2) 生活圏の調査と地域の展望

3 学習計画

月	内容	時間	指導上の留意点	評価の観点	評価方法
4	1-1 地図と地理情報システム	3	・中学社会科との関連をばかるとともに、基本的な事項を基に指導内容を構成する。	a,b,c	小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度
	1-2 結びつきを深める現代世界	3	・地図や統計などの地理情報の収集・分析には、地理情報システムや地理情報ネットワークなどを活用する。	a,b,c	小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度
5	2-1-1 世界の地形と人々の生活	3	・地図の読図や作図などを主とした作業的で具体的な体験を伴う学習を取り入れる。	a,b,c	小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度
	1学期中間考査	1		a,b	
6	2-1-2 世界の気候と人々の生活	4	・地図を有効に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、討論したりするなどの活動を充実する。	a,b,c	小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度
	2-1-3 世界の言語・宗教と人々の生活	4	・さまざまな地図の読図によって現代世界を地理的な視点から概観するとともに、球面上の世界のとらえ方にも習熟するよう工夫する。	a,b,c	小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度
7	1学期期末考査	1		a,b	
9	2-1-4 歴史的背景と人々の生活	3	・世界的視野から日本の位置を捉えるとともに、日本の領域をめぐる問題にも触れる。	a,b,c	小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度
	2-1-5 世界の産業と人々の生活	3	・地理的環境には自然環境だけでなく、歴史的背景や人々の産業の営みなどの社会環境も含まれることに留意する。	a,b,c	小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度
	2-2-1 複雑に絡み合う地球的課題	3	・地球的課題の解決については、人々の産業などの経済活動との調和のとれた取り組みが重要であり、それが持続可能な社会づくりにつながることを留意する。	a,b,c	小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度
10	2-2-2 地球環境問題	3		a,b,c	小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度
	2学期中間考査	1		a,b	
11	2-2-3 資源・エネルギー問題	4	・地形図やハザードマップなどの主題図の読図など、日常生活と結びついた地理的技術を身に付けるとともに、防災意識を高めるように工夫する。	a,b,c	小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度
	2-2-4 人口問題	4		a,b,c	小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度
12	2-2-5 食糧問題	4		a,b,c	小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度
	2-2-6 都市・居住問題	4		a,b,c	小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度
	2学期期末考査	1		a,b	
1	3-1 自然環境と防災	7		a,b,c	小テスト,授業プリント,授業態度,発表準備
2	3-2 生活圏の調査と地域の展望	6		a,b,c	小テスト,授業プリント,授業態度,発表準備
3	課題発表	1		b,c	発表
	学年末考査	1		a,b	
	合計	64			

55分授業

4 評価規準と評価方法

評価	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点・規準	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関係を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評価方法	・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題

令和4年度シラバス(数学 I)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	数学(数学 I)	単位数	3単位	学年	1学年	コース	
教科書 副教材等	[主たる教材] 数研出版「新編 数学 I」 [副教材] 数研出版「新課程3TRIAL 数学 I + A」, 数研出版「新課程3TRIAL 数学 I + A 別冊解答」, 数研出版「新課程3TRIAL 完成ノート数学 I【数と式, 集合と命題】」, 数研出版「新課程3TRIAL 完成ノート数学 I【2次関数】」, 数研出版「新課程3TRIAL 完成ノート数学 I【図形と計量, データの分析】」, 数研出版「データの分析ワークノート改訂版」						

1 学習目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数と式, 図形と計量, 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 命題の条件や結論に着目し, 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力, 図形の構成要素間の関係に着目し, 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力, 社会の事象などから設定した問題について, データの散らばりや変量間の関係などに着目し, 適切な手法を選択して分析を行い, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習内容

(1) 数と式 (2) 集合と命題 (3) 図形と計量 (4) 二次関数 (5) データの分析

3 学習計画

月	内容	時間	指導上の留意点	評価の観点	評価方法
4	第1章 数と式 第1節 式の計算	9	・因数分解の公式に理解を深め, 式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形させる。 ・数を実数までに拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をできるようにする。	a, b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
	5	第2節 実数		8	a, b, c
6	1学期中間考査	1	・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し, 一次不等式の解を求めたり, 一次不等式を事象の考察に活用できるようにする。	a, b	
	第2節 実数	5		a, b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
	第3節 1次不等式	4		a, b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
7	1学期期末考査	1		a, b	
9	第2章 集合と命題	4	・集合と命題に関する基本的な概念を理解させ, それを事象の考察に活用できるようにする。	a, b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	5		a, b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
10	第2節 2次関数の値の変化	4	・二次関数の値の変化について, グラフを用いて考察したり, 最大値や最小値を求められるようにする。	a, b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
	第2節 2次関数の値の変化	8		a, b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
11	2学期中間考査		・数量の関係を二次不等式で表し, 二次関数のグラフを利用して解を求められるようにする。	a, b	
	第3節 2次方程式と2次不等式	5		a, b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
	第3節 2次方程式と2次不等式	4		a, b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
12	2学期期末考査	4		a, b	
1	第4章 図形と計量 第1節 三角比	10	・三角比を鈍角にまで拡張する意義を理解させ, 鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比を求められるようにする。 ・正弦定理や余弦定理について理解させ, 三角形の辺の長さや角の大きさを求められるようにする。	a, b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
	第2節 三角形への応用	4		a, b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
2	第2節 三角形への応用	3	・四分位偏差, 分散, 標準偏差などの意味を理解させ, データの傾向を把握できるようにする。	a, b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
	第5章 データの分析	9		a, b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
3	課題学習	4	・学習内容の特質に応じて, 仮説の設定・法則性の導出などの探究の方法を習得させたり, 発表を行う機会を設けたりする。	b, c	学習活動への取組, 課題の取り組み状況, 提出プリントの内容
	学年末考査	1		a, b	
合計		96			

55分授業

4 評価規準と評価方法

評価の観点・規準	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力, 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善しようとしたりしている。
	・学習活動への取り組み ・提出プリントの内容 ・定期考査	・学習活動への取り組み ・提出プリントの内容 ・定期考査	・学習活動への取り組み ・提出プリントの内容 ・課題の取り組み状況

令和4年度シラバス(化学基礎)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	理科(化学基礎)	単位数	3単位	学年	1学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材] 東京書籍「新編化学基礎」 [副教材] 数研出版「新課程リードLightノート化学基礎」 第一学習社「新課程版スクエア最新図説化学」						

1 学習目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けるようにする。

(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

(3)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 学習内容

(1)化学と人間生活 (ア)化学と物質
 (2)物質の構成 (ア)物質の構成粒子 (イ)物質と化学結合
 (3)物質の変化とその利用 (ア)物質と化学反応式 (イ)化学反応 (ウ)化学が拓く世界

3 学習計画

月	内容	時間	指導上の留意点	評価の観点	評価方法
4	1編化学と人間生活 1章化学とは何か	2	・中学校理科との関連を考慮し、知識及び技能と思考力、判断力、表現力等とを相互に関連させながら、科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を目指す。 ・観察、実験などを行い、探究の過程を踏まえた学習活動を行うようにする。 ・日常生活や社会で利用されている科学技術の具体的事例を取り上げる。	c	授業で取り組んだ課題
	2章物質の成分と構成元素 1節物質の成分	4		a	実験レポート
5	2節物質の構成元素 3節物質の三態	3		a	小テスト
	1学期中間考査	1		ab	
6	2編物質の構成 1章原子の構造と元素の周期表	7		ab	小テスト
	1節原子の構造 2節 電子配置と周期表			ab	小テスト
7	2章化学結合 1節イオンとイオン結合 2節分子と共有結合	6		a	小テスト
	3節金属と金属結合 4節 化学結合と物質の分類	6		ab	
9	1学期期末考査	1		ab	
	3編物質の変化 1章物質と化学反応式	7		ab	小テスト
1節原子量・分子量・式量 2節物質質量	ab			小テスト	
10	3節溶液の濃度 4節化学反応式の表し方	6		ab	小テスト
	5節化学反応式の量的関係	6	ab	小テスト	
11	2学期中間考査	1	ab		
	2章 酸と塩基 1節酸と塩基 2節水素イオン濃度とpH	8	a	小テスト	
12	3節中和反応と塩の生成 4節中和滴定	12	abc	小テスト・実験レポート	
	2学期期末考査	1	ab		
1	3章酸化還元反応	8	ab	小テスト	
	1節酸化と還元 2節酸化剤と還元剤		ab	小テスト・実験レポート	
2	3節金属の酸化還元反応	8	b	小テスト	
	4節酸化還元反応の応用	5	c	レポート作成	
3	化学が拓く世界	3	ab		
	学年末考査	1			
合 計		96			

55分授業

4 評価規準と評価方法

評価の観点・規準	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点・規準	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	・定期考査 ・小テスト ・実験レポート	・定期考査 ・実験レポート	・実験レポート ・授業で取り組んだ課題 ・授業で取り組んだ対話的活動による提出物

令和4年度シラバス(体育)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	保健体育(体育)	単位数	3単位	学年	1学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材]大修館書店「現代高等保健体育」 [副教材]大修館書店「図説現代高等保健」						

1 学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2 科目の内容

「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「球技」、「武道」、「ダンス」および「体育理論」の領域から、選択して実施する。また、冬期は「スキー(アルペン)」を実施する。

3 学習計画

月	内容	時間	指導上の留意点	評価の観点	評価方法
4	体づくり運動	7	○体を動かす楽しさや心地よさを味わう ○継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる	a, c b	発表の様子(行動の確認) 取り組みの様子(行動の確認)
5	1学期中間考査 陸上競技	22	○記録の向上や競争を通して自己や仲間の課題を解決する ○技術の名称や行い方,体力の高め方,課題解決の方法,競技会の仕方などを理解する ○各種目特有の技能を身に付ける	a, c b	記録の計測(行動の確認) レポート(記述の点検)
6					
7	1学期期末考査 体育理論	6	○運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する ○豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する	b c	レポート(記述の点検) 取り組みの様子(行動の確認)
9	2学期中間考査 球技選択1 持久走 球技選択2 校内マラソン大会	25	[球技] ○勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう ○技術などの名称や行い方,体力の高め方,課題解決の方法,競技会の仕方などを理解する	a, c b	発表の様子(行動の確認) レポート(記述の点検)
10					
11	2学期期末考査 球技選択3 球技選択4	16	○作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する [持久走・校内マラソン大会] ○自分で設定したペースを維持し,記録の向上を目指す	a, c b	発表の様子(行動の確認) レポート(記述の点検)
12					
1	スキー(アルペン)	18	○安全なスピードでの滑走,停止,ターンなどの技術を習得する ○冬季の自然環境の変化を踏まえた健康・安全の確保の仕方,事故防止のマナーなどについて習得する	a, c b	発表の様子(行動の確認) レポート(記述の点検)
2					
3	学年末考査 体育理論	2	○運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する ○豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する	b c	レポート(記述の点検) 取り組みの様子(行動の確認)
	合計	96			

4 評価規準と評価方法

55分授業

評価の観点・規準	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解しようとしているとともに、技能を身に付けようとしている。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見しようとしている。 合理的、計画的な解決に向けて思考し判断している。 他者に伝える力を身に付けようとしている。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとしている。	
評価方法 (知識) 学習した内容について、練習中に伝えたり、ノートに書き出したりしている。 (技能) 前時に学習した具体例を実践し、プレーしている。	ノートに課題と反省を書くことで、自己の活動の振り返る。 班ごとの授業計画を作成する。 グループワークで作戦や方針を決める。	学習ノートへの記入状況 質問に対する発信内容 授業準備等への参加	

令和4年度シラバス(保健)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	保健体育(保健)	単位数	1単位	学年	1学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材]大修館書店「現代高等保健体育」 [副教材]大修館書店「図説現代高等保健」						

1 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。

(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 科目の内容

(1) 現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、指導する。

(2) 安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、指導する。

(3) 生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、指導する。

(4) 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、指導する。

3 学習計画

月	内容	時間	指導上の留意点	評価の観点	評価方法
4	私たちの健康のすがた	1	健康問題の移り変わりや健康水準の向上について理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	健康のとらえ方	1	健康についての考え方や成立要因について理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
5	健康と意志決定・行動選択	1	意志決定行動選択が健康に影響を与える要因を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	健康に関する環境づくり	1	個人の健康を向上させるための社会的支援のしくみを理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
6	生活習慣病とその予防	2	生活習慣病と日常生活との関連性を学び、その予防法を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	食事と健康、運動と健康	1	食事・運動と健康の関連性を知り、健康的な生活習慣を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
7	1学期期末考査	1	休養と睡眠が心身の疲労回復とどのように関わっているか理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	喫煙と健康	2	喫煙が及ぼす健康・社会的問題を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
7	1学期期末考査	2	飲酒が及ぼす健康・社会的問題を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	飲酒と健康	2	飲酒が及ぼす健康・社会的問題を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
9	薬物乱用と健康	2	薬物乱用が及ぼす健康・社会的問題を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	現代の感染症	1	現在の感染症問題の特徴を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
10	2学期中間考査	2	現在問題となっている感染症への対策を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	感染症の予防	2	エイズ等の性感染症の基礎的な知識とその予防法を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
11	性感染症・エイズとその予防	2	エイズ等の性感染症の基礎的な知識とその予防法を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	欲求と適応機制	1	欲求の種類、欲求不満から生じる適応機制について理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
12	2学期期末考査	2	心と体の動きが相互に影響し合う関係を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	心身の相関とストレス	2	心身の相関とストレス	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
12	2学期期末考査	2	ストレスに適切に対処できるようにその方法を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	ストレスへの対処	2	ストレスに適切に対処できるようにその方法を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
1	1学期期末考査	1	自己実現を達成する過程を学び、健康とのかかわりを理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	心の健康と自己実現	1	自己実現を達成する過程を学び、健康とのかかわりを理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
1	交通安全の現状と要因	1	交通事故の現状を理解し、事故の要因についても理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	交通安全における運転者の資質と責任	1	安全な運転のために運転者に必要とされるものを理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
2	安全な交通社会づくり	1	安全な交通社会を作るための方策や車両の対策について理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	応急手当の意義とその基本	1	応急手当の意義や手順を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
3	3学期期末考査	2	心肺蘇生法の原理・基礎知識・手順を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	心肺蘇生法	2	心肺蘇生法の原理・基礎知識・手順を理解する。	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
3	3学期期末考査	1	日常的な応急手当	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
	日常的な応急手当	1	日常的な応急手当	a,b,c	定期考査、ノート、レポート、発表の様子
合計		32			

55分授業

4 評価規準と評価方法

評価の観点・規準	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けようとしている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。
評価方法	・定期考査 ・小テスト	・グループワークでの発言 ・調べ学習での観点 ・定期考査	・学習活動への参加状況 ・質問に対する発言内容 ・提出プリントの内容 ・課題の提出、取り組み状況

令和4年度シラバス(音楽Ⅰ)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	芸術(音楽Ⅰ)	単位数	2単位	学年	1学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材] 教育芸術社「MOUSA1」 [副教材] ドレミ楽譜出版「高校生のための新・楽典ワーク」						

1 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 学習内容

A 表現 表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 歌唱 歌唱表現に関わる知識技能、創意工夫を生かした歌唱表現をするための技能を育成する。

(2) 器楽 器楽表現に関わる知識技能、創意工夫を生かした器楽表現をするための技能を育成する。

(3) 創作 創作表現に関わる知識技能、創意工夫を生かした器楽表現をするための技能を育成する。

B 鑑賞 鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 鑑賞 鑑賞に関わる知識技能を得たり生かしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く力を育成する。

3 学習計画

月	内 容				時間	評価の 観点	評価方法
	単元名	教材	領域	学習活動(指導内容)			
4	校歌を歌う	校歌	歌唱	歌詞を覚える	2	a,b	実技テスト
	楽譜を記譜する	校歌	楽典	校歌を記譜する	2	b,c	レポート提出
5	リコーダー	教科書・副教材	器楽□	運指を覚え、きれいな音を出せるように練習する	5	a,b	実技テスト
	日本の音楽Ⅰ	教科書歌唱教材	歌唱	歌唱教材を歌う	2	a,b	実技テスト
6	合唱	プリント歌唱教材	歌唱	各声部ごとに練習する,合奏する	5	a,b,c	実技テスト 行動観察
	日本の曲	教科書	歌唱	歌唱教材を歌う	4	a,b	実技テスト
7	フランスの音楽	教科書	鑑賞	フランスの音楽を鑑賞する	2	b,c	レポート提出
	1学期まとめ				2	a,b	実技テスト
8,9	合唱	文化祭発表 合唱曲	歌唱	発声練習 パートに分かれて合唱する	4	a,b	実技テスト
					4	a,b	実技テスト
10	世界の音楽	教科書	歌唱	歌唱教材を歌う	4	a,b,c	実技テスト レポート提出
	楽典	教科書	理論	音符・休符・拍子・リズムを理解する	4	b,c	レポート提出
11	ギター アンサンブル	教科書器楽教材	器楽	ギターの基礎を練習する	5	a,b,c	実技テスト 行動観察
	映像からBGMを創作	映像教材	創作	映像からイメージを膨らませ、音を想像し楽譜にする。	2	b,c	レポート提出
12	クラシックから ポピュラーまで	DVD鑑賞教材	鑑賞	音楽を題材にした映画の鑑賞	2	b,c	レポート提出
	世界の作曲家 日本の作曲家	教科書・DVD教材	音楽史 鑑賞	作曲家の作品と歴史	3	b,c	レポート提出
2学期まとめ				2	a,b,c	実技テスト レポート提出	
1 2	ミュージカルと映画音楽	ブロードウェイ ミュージカルから話題の作品など	鑑賞	詩と音楽の関わりを知る 歌唱教材を歌う	6	b,c	レポート提出
					6	a,b,c	実技テスト 行動観察
3	三線	教科書器楽教材	器楽	演奏の基礎を学習する メロディーを弾く 琉球音楽を親しむ	6	a,b,c	実技テスト 行動観察
					1年間のまとめ		
合 計				64			

55分授業

4 評価規準と評価方法

評価の観点・規準	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点・規準	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	・グループ発表 ・実技テスト	・レポートの提出 ・グループ発表 ・実技テスト	・行動観察 ・レポートの提出

令和4年度シラバス(美術 I)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	芸術(美術 I)	単位数	2単位	学年	1学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材] 光村図書「美術1」 [副教材]						

1 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習内容

A表現 (1) 絵画・彫刻 感じ取ったことや考えたことから発想・構想し、創造的に表現する。
(2) デザイン 目的や機能などを考えて発想・構想し、創造的に表現する。
(3) 映像メディア表現 映像メディアの特性を踏まえて発想・構想し、創造的に表現する。

B鑑賞 美術作品などの見方や感じ方を深める。
生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める。

3 学習計画

月	内容	時間	指導上の留意点	評価の観点	評価方法
4	鑑賞:オリエンテーション	1	・A表現/絵画・彫刻,デザイン,映像メディア表現の指導にあたっては,スケッチやデッサンなどにより観察力,思考力,描写力が十分高まるように配慮する。絵の具の基本的な使い方の理解,質感の描き分けができるよう助言する。デザインでは,色彩構成の配色計画を立て,計画に従い着色するよう指導する。	a,b,c	・鑑賞プリント ・行動観察
5	絵画/表現:鉛筆デッサン「立方体」「円柱」「球」	9		a,b,c	・ワークシート ・作品 ・行動観察
6 7	絵画/表現:油絵制作「静物」	12		a,b,c	・ワークシート ・作品 ・行動観察
8,9	鑑賞: DVD鑑賞	1	・B鑑賞の指導については,作品鑑賞の後,ワークシート提出が基本だが,作品について互いに批評し合う活動などを取り入れるようにする。	a,b,c	・鑑賞プリント ・行動観察
10	絵画/表現:「真珠の耳飾りの少女」模写	9		a,b,c	・ワークシート ・作品 ・行動観察
11 12	デザイン/表現:色彩構成	18		a,b,c	・ワークシート ・作品 ・行動観察
1 2	彫刻/表現:木のレリーフ制作	7	・美術に関する知的財産権や肖像権などについて考慮し,自己や他者の著作物等を尊重する態度の形成をはかるようにする。	a,b,c	・ワークシート ・作品 ・行動観察
3	映像メディア表現/表現:動く絵をつくる	7		a,b,c	・ワークシート ・作品 ・行動観察
合計		64	・事故防止のため,特に,刃物類,塗料,器具などの使い方の指導と保管,活動場所における安全指導などを徹底する。		

55分授業

4 評価規準と評価方法

評価の観点・規準	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し,創造的に表している。	造形的なよさや美しさ,表現の意図と創意工夫,美術の働きなどについて考え,主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり,価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
評価方法	・鑑賞プリント ・ワークシート ・作品	・鑑賞プリント ・ワークシート ・作品	・行動観察 ・課題の提出,作品の取り組み状況

令和4年度シラバス(書道 I)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	芸術(書道 I)	単位数	2単位	学年	1学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材] 教育図書「書 I」「書 I プライマリーブック」 [副教材] 教育図書「硬筆レッスン帳」						

1 学習目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習内容

表現(漢字仮名交じりの書・漢字の書・仮名の書)及び鑑賞の指導を通して、用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解すること。また、書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解すること。

3 学習計画

月	内容	時間	指導上の留意点	評価の観点	評価方法
4	書道入門	1	・芸術・書道に関心を持ち、楽しく意欲的に取り組む姿勢を育てる。	a,b,c	ワークシート、行動観察
	楷書臨書実習(半紙)	2		a,b,c	作品、行動観察
5	漢字の書・孔子廟堂碑	3	・用具・用材の扱い方を理解し、それを継続できるようにする。	a,b,c	作品、行動観察
	漢字の書・九成宮醴泉銘	2		a,b,c	作品、行動観察
	漢字の書・雁塔聖教序	3		a,b,c	作品、行動観察
6	漢字の書・顔氏家廟碑	3	・それぞれの古典の特徴を理解し、用筆法を真似ることができるように導く。	a,b,c	作品、行動観察
	漢字の書・牛橛造像記	3		a,b,c	作品、行動観察
7	臨書自由作品制作(半紙)	3	・自ら古典を選び、その古典の特徴を捉えて臨書作品を仕上げることをできるようにする。	a,b,c	作品、行動観察
	新潟県競書大会課題制作(半紙)	2		a,b,c	作品、行動観察
8,9	新潟県競書大会課題制作(半紙)	2	・限られた時間の中で、個性的に伸びやかに書けるよう導く。	a,b,c	作品、行動観察
	パネル表具実習	3		a,b,c	鑑賞カード、行動観察
10	パネル作品展示・鑑賞	3	・表具の材料・手順を理解し、協力して作業することができるようにする。	a,b,c	作品、行動観察
	行書臨書実習(半紙及び半切)	2		a,b,c	作品、行動観察
11	漢字の書・集王聖教序	4	・印稿作成・布字がスムーズにいくように導く。	a,b,c	作品、行動観察
	漢字の書・蘭亭序	5		a,b,c	作品、行動観察
12	漢字の書・風信帖	5	・自ら題材を選び、自由な発想で色紙作品に表せるようにする。	a,b,c	作品、行動観察
	漢字の書・争坐位文稿	4		a,b,c	作品、行動観察
1	篆刻実習 姓名印(7分白文印)制作	2	・自ら題材を選び、自由な発想で色紙作品に表せるようにする。	a,b,c	作品、行動観察
	隸書臨書実習(半紙及び半切)	2		a,b,c	作品、行動観察
2	漢字の書・曹全碑	2	・自ら題材を選び、自由な発想で色紙作品に表せるようにする。	a,b,c	作品、行動観察
	仮名臨書実習(半紙)	2		a,b,c	作品、行動観察
3	蓬來切・高野切第三種	2	・自ら題材を選び、自由な発想で色紙作品に表せるようにする。	a,b,c	作品、行動観察
	漢字仮名交じり自由作品制作(色紙)	2		a,b,c	作品、行動観察
	鑑賞へのいざない 私と書のこれから	2		a,b,c	鑑賞カード、行動観察
合計		64			

55分授業

4 評価規準と評価方法

評価の観点・規準	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点・規準	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
評価方法	・作品 ・ワークシート ・鑑賞カード	・作品 ・ワークシート ・鑑賞カード	・行動観察 ・課題の提出、作品の取り組み状況

令和4年度シラバス(英語コミュニケーションⅠ)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	外国語(英語コミュニケーションⅠ)	単位数	4単位	学年	1学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材] 三省堂「MY WAY English CommunicationⅠ」 [副教材] 三省堂「MY WAY English CommunicationⅠ WORKBOOK Standard」 いいずな書店「英単語・熟語 Bricks 1」 いいずな書店「英単語・熟語 Bricks 1 定着サポートノート vol.1～3」 数研出版「Let's Start! 英語基礎ノート」						

1 学習目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域(以下この節において「五つの領域」という。)別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。

(1) 聞くこと
ア 日常的话题について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。
イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

(2) 読むこと
ア 日常的话题について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。
イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

(3) 話すこと[やり取り]
ア 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。

(4) 話すこと[発表]
ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

(5) 書くこと
ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

2 学習内容

(1) 英語の特徴やよきまりについて
英語を用いた言語活動を通して、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることについて
具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する技能を身につける。

(3) 言語活動及び言語の働きについて
聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別の言語活動や複数の領域を結びつけた言語活動を通して学習する。

3 学習計画

月	内容	時間	指導上の留意点	評価の観点	評価方法	
4	Starter 英語の文のしくみ	1	(1) 中学校におけるコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための総合的な指導を踏まえ、五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結びつけた統合的な言語活動を通して、総合的に指導する。 (2) 中学校における学習との接続のため、既習の語句や文構造、文法事項などの学習内容を繰り返したり、特にこの科目の学習の初期の段階においては中学校における基礎的な学習内容を整理したりして指導し、定着を図るよう配慮する。	a	定期考査	
	Lesson 1 Proverbs Around the World	8		a, b, c	定期考査 パフォーマンステスト 提出物	
5	Lesson 2 Iwago Mitsuaki	8		a, b, c	定期考査 パフォーマンステスト 提出物	
	1学期中間考査	1		a, b		
6	Lesson 3 Sending Canned Mackerel to Space	10		a, b, c	定期考査 パフォーマンステスト 提出物	
	Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh	10		a, b, c	定期考査 パフォーマンステスト 提出物	
7	1学期期末考査	1		a, b		
9	Lesson 5 Endangered Languages	14		a, b, c	定期考査 パフォーマンステスト 提出物	
10	Lesson 6 A Wheelchair Traveler	14		a, b, c	定期考査 パフォーマンステスト 提出物	
	2学期中間考査	1		a, b		
11	Lesson 7 The Fugees	14		a, b, c	定期考査 パフォーマンステスト 提出物	
12	Lesson 8 Avatar Robots	14		a, b, c	定期考査 パフォーマンステスト 提出物	
	2学期期末考査	1		a, b		
1	Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination	14		a, b, c	定期考査 パフォーマンステスト 提出物	
2	Lesson 10 SDGs	14		a, b, c	定期考査 パフォーマンステスト 提出物	
3	Reading: The Tale of Johnny Town-Mouse	2		a, b, c	定期考査 パフォーマンステスト 提出物	
	学年末考査	1		a, b		
合計		128				

55分授業

4 評価規準と評価方法

評価の観点・規準	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言内容 定期考査 パフォーマンステスト 英単語テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言内容 定期考査 パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加状況 課題の提出と取り組み状況

令和4年度シラバス(家庭基礎)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	家庭(家庭基礎)	単位数	2単位	学年	1学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材] 大修館書店「クリエイティブ・リビングCreative Living『家庭基礎』で生活をつくろう」 [副教材] 第一学習社「最新生活ハンドブック2022資料&成分表」 実教出版「(家基705)家庭基礎気づく力築く未来 学習ノート」						

1 学習目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 学習内容

自立と共生を軸にした内容で、人の一生における家族・家庭の関りを通して生活設計やそのための健全な消費生活を理解する能力を養い、実践的な態度を養う。

3 学習計画

月	内容	時間	指導上の留意点	評価の観点	評価方法
4	人とかかわって生きる,自分らしい生き方	2	・人との関わりを通して自己を見つめ、自立した生き方を見つけ、共に生きる人生を考える実践的態度と知識を養う。	a,b,c	行動観察、ノート記述
	自立した生き方,	1		a,b,c	行動観察、ノート記述
5	家族に関する法と社会保障制度	1	・衣生活の知識を身につけ、実験・実習から生活素材を使いこなし、応用できる実践的態度を養う。	a,b,c	行動観察、ノート記述
	共に生きる人生	1		a,b,c	行動観察、ノート記述
	1学期中間考査	1		a,b	定期考査
6	衣生活と環境	4	・衣生活の知識を身につけ、実験・実習から生活素材を使いこなし、応用できる実践的態度を養う。	a,b,c	行動観察、ノート記述
	テキスタイル素材と管理	3		a,b,c	行動観察、ノート記述
7	衣服・実験実習〔基礎縫いと応用,素材洗濯実験〕	6	・子どもの能力,成長,発達を理解し、親として、寄り添える知識と実践的態度を養う。 ・子供と関わる知識と子供と関わる素晴らしさを体感し、実践的態度を養う。	a,b,c	行動観察、作品、レポート
	1学期期末考査	1		a,b	定期考査
	子どもと関わる。発達の素晴らしさ楽しさ	4	・食を通して食品の安全性と選択の知識を身につけ、実践的態度を養う。	a,b,c	行動観察、ノート記述
	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	3		a,b,c	行動観察、ノート記述
9	調理と食中毒予防,食事計画	3	・食品表示等食の安全式に対する知識と	a,b,c	行動観察、ノート記述
	食生活,栄養と安全な食品の選び方	3		a,b,c	行動観察、ノート記述
10	調理と食中毒予防,食事計画	2	・超高齢社会に向け、対処する知識と態度を養い、向き合う、実践的態度を養う。	a,b,c	行動観察、ノート記述
	調理実習3回	6		a,b,c	行動観察、レポート
11	2学期中間考査	1	・生涯を通じた自己自立設計を考えることができる能力を養う。	a,b	定期考査
	超高齢社会を生きる,グローバルなサステナビリティ	2		a,b,c	行動観察、ノート記述
12	生涯生活設計	2	・消費者としての自立と人生設計に関心を向け、権利と責任を自覚し、サステナビリティを基本とする知識と実践的態度を養う。	a,b,c	行動観察、ノート記述
	2学期期末考査	1		a,b	定期考査
	消費者としての権利	2	・キャッシュレス社会に対応できる能力と実践的態度を養う。	a,b,c	行動観察、ノート記述
1	消費行動決定と意思決定。消費者トラブル	4		・住生活の健康で安全な環境を知り、共に生活する実践的態度を養う。	a,b,c
	住生活の自立,健康で安全な住環境	4	a,b,c		行動観察、ノート記述
2	住生活設計とこれからの住まい,住環境	3	・持続可能な社会を目指していく能力と実践的態度を養う。	a,b,c	行動観察、ノート記述
	SDGs持続可能な社会をめざして	3		a,b,c	行動観察、ノート記述
3	学年末考査	1		a,b	定期考査
合計		64			

55分授業

4 評価規準と評価方法

評価の観点・規準	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・定期考査 ・作品 ・ノート記述	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・定期考査 ・作品 ・レポート	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 ・行動観察 ・レポート ・ノート記述

令和4年度シラバス(情報 I)

学番53 県立小出高等学校

教科(科目)	情報(情報 I)	単位数	2単位	学年	1学年	コース	共通
教科書 副教材等	[主たる教材] 実教出版「最新情報 I」 [副教材] 実教出版「ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシーOffice2019対応」						

1 学習目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

2 学習内容

(1) 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目し、情報社会の問題を発見・解決する。

(2) メディアとコミュニケーション手段及び情報デザインに着目し、目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える。

(3) コンピュータで情報が処理される仕組みに着目し、プログラミングやシミュレーションによって問題を発見・解決する。

(4) 情報通信ネットワークを介して流通するデータに着目し、情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを活用し、問題を発見・解決する

3 学習計画

月	内容	時間	指導上の留意点	評価の観点	評価方法
4	1年間の授業についてオリエンテーション	1	①授業年間プログラムのスタートに際して、取り組み姿勢、挑戦する積極性・熱意・柔軟性などを確認・理解させる。	a,c	ワークシート、行動観察
	DVD視聴「情報化社会の光と影①,②」	1		a,c	ワークシート、行動観察
5	情報化社会と情報の活用方法	3		a,c	ワークシート、行動観察
	情報の活用と表現方法	3		a,c	ワークシート、行動観察
6	Windows オフィス「Word」(ワープロ)の活用	3		a,b,c	作品、行動観察
	アナログとデジタルの性能・特長の比較	3		a,c	ワークシート、行動観察
7	メロディ付き虹色電子時計のプログラム実習	3		a,b,c	作品、行動観察
	音声・画像のデジタル処理・性能	3		a,c	ワークシート、行動観察
8,9	アプリケーション・ソフトの演習「画像処理・グラフ作成」	3		a,b,c	作品、行動観察
	1学期期末考査	1		a,b	定期考査
10	③各個人能力を段階的に向上させるために、年間の授業スケジュールを着実に、推進・達成させる。各人の粘り強さ・挑戦的姿勢・熱意・計画性が図れるようにする。	2	a,c	ワークシート、行動観察	
	オフィス「Excel」の活用	2	a,c	ワークシート、行動観察	
11	データの入力/表の作成・計算処理/グラフ作成	3	a,c	ワークシート、行動観察	
	AI公開演習MATLABを活用した映像認識の試演	2	a,c	ワークシート、行動観察	
12	「多様性・優しい・精確など」社会と情報の分析	2	a,c	ワークシート、行動観察	
	コンピュータ・シミュレーションの動向・使い方・実用性	2	a,c	ワークシート、行動観察	
1	同上シミュレーションの演習(特長/性能/効果)	4	a,b,c	作品、行動観察	
	情報の扱い(安全性/モラル/保護)と知的財産権	4	a,c	ワークシート、行動観察	
2	2進数の情報処理方法(2進数/16進数/10進数)	4	a,c	ワークシート、行動観察	
	2学期期末考査	1	a,b	定期考査	
3	情報処理基本ルール「手順・規則・処理」(アルゴリズム)	2	a,c	ワークシート、行動観察	
	VBAプログラムを活用したマクロ処理の演習・発表	2	a,b,c	発表、行動観察	
4	オフィス「PowerPoint」の活用(プレゼンテーション)	3	a,c	ワークシート、行動観察	
	プレゼンテーションの操作方法の学習・理解	2	a,c	ワークシート、行動観察	
5	プレゼンテーションの実践演習	4	a,b,c	作品、行動観察	
	AI公開演習MATLAB活用『自動運転技術』の試演	2	a,c	ワークシート、行動観察	
	プレゼンテーションの発表で、総合評価(学期/年間)	1	a,b,c	発表、行動観察	
合計		64	④授業のイベント「2進数/プログラム・シミュレーション/プレゼンテーションなど」では、情報学習能力のステップアップが求められるので、細心の準備・配慮を整えて、生徒が円滑・順調に(落伍しないように)学習向上出来るように進める。		
			⑤上記イベントを円滑に進める時には、各人の学習取り組み姿勢に加えて、クラス総力としてのチームワークや、相互支援が重要な推進力(パワー)になるので、環境・雰囲気は円滑に醸成する。		

55分授業

4 評価規準と評価方法

評価の観点・規準	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
	・定期考査 ・レポート ・作品	・定期考査 ・レポート ・作品 ・発表	・行動観察 ・レポート ・発表